

EALAI 研究セミナー第3回

大韓帝国を考える —小中華意識の視点から

10月31日(木) 12:10-13:00

駒場国際教育研究棟(KIBER) 314会議室
(対面のみ定員50名)

発表者 月脚達彦 (総合文化研究科教授)

1897年10月、朝鮮王朝の第26代国王高宗は、皇帝に即位するとともに国号を大韓に改めた。これによって大韓帝国が成立した。大韓帝国は1910年の韓国併合によって日本の植民地とされる。大韓帝国は日本の中学校歴史教科書にも出てくるが、ではどのような国だったかという点、日本ではあまり知られていない。また、韓国の歴史学界でもその評価は大きく分かれている。

本セミナーでは、大韓帝国について、近年の研究動向を踏まえながら、その成立を「小中華意識」という視点から考えてみたい。

司会 清水 剛 (総合文化研究科教授)